

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業		評価者	交通計画課 担当課長 若林 篤	
まち-06 放置自転車防止事業		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	交通計画課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	総合交通	施策の方針	駐輪対策の推進

1 事業の目的

2 平成27年度に実施した事業の概要

対象	市民等	・駐輪場への誘導及び放置自転車等に対する警告や、警告後も移動しない放置自転車等の移動を委託した。 ・放置しづらい環境づくりのため、歩行者の通行に配慮したプランター等の設置を委託した。 ・市が管理する駐輪場の巡回管理及び自転車等保管場所の警備を委託した。 ・保管期間が経過した自転車等のうち、リサイクルされないものの処分を委託した。
意図	自転車等の放置防止により市民等の通行の安全、災害時の緊急活動の円滑化を図るため	
効果	駐輪場整備及び放置自転車等の警告移動を行い、市民等の通行の安全を図る	

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算		27年度決算		28年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,464人	80,368世帯	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	45,778	41,988	当初予算(千円)	48,229		
	国県支出金			国県支出金			
	地方債			地方債			
	その他	15,588	16,159	その他	17,563		
	一般財源	30,190	25,829	一般財源	30,666		
	人員配置数	2.0	2.0	人員配置数	2.0		
事業経費運営	人件費(千円)	15,143	15,377	人件費(千円)	15,812		
	総事業費(千円)	60,921	57,365	総事業費(千円)	64,041		
	市民1人当りの経費(円)	343	324	市民1人当りの経費(円)	362		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	4. 市民生活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可能
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○-2. 適正な受益者負担を導入している
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-1. 既に市民等と協働して事業を実施しているが、協働のあり方等の見直しが必要である
		協働実施済の場合のパートナー 鎌倉・大船警察、(公財)自転車駐車場整備センター

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				事業へ統合

予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	・駐輪場用地の確保及び設置には、予算規模の拡大が必要となるが、補助金の活用や関係事業者との協議により、費用の削減を図るよう努めていく。
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする		
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	・放置自転車等をなくすためには、継続的にマナーを守る意識の高揚を行っていくことが必要不可欠であり、事業を廃止・休止した場合、放置自転車が増加することは容易に想定され、市民生活への影響は大きい。 ・自転車等が放置されない環境づくりは、本市総合計画の将来目標である「安全で快適な生活が送れるまち」を目指す上で貢献度は大きい。 ・警告札の貼付、放置禁止区域の周知、自転車等駐車場の利用の呼びかけを継続的に行っていくことにより、放置台数は削減傾向にあり、事業の成果は出ている。 ・しかしながら、自転車等の放置が解消されていないこと、自転車等駐車場の待機者が多数いることを踏まえると、駐輪場用地の確保について長期的な課題として取り組んでいくなど、更なる努力が必要である。
-------------------	---

平成27年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車等防止対策により、放置自転車等は年々減少しているが、更なる抑制を行うためには、鎌倉駅西口の駐輪場待機者の解消や大船駅東口の恒久的な駐輪場の不足による、駐輪場の整備が課題である。 ・買物客などの店舗利用者の歩道等への一時駐輪に対する対策として放置禁止キャンペーンを行っているが、引き続き、マナーを守る呼びかけを継続的に行う必要がある。 	
課題解決のために行った平成27年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車等防止対策として警告、移動を、また、ブラザーボット等の設置により放置しづらい環境づくりを実施した。 ・JR鎌倉駅及び大船駅周辺の自転車等放置禁止区域には、監視員を平日は8時から17時まで常時配置し、日曜日は月2回の監視を行った。 ・買物客などの店舗利用者の歩道等への一時駐輪に対する対策として、平成27年11月にJR鎌倉駅周辺で、同年12月にJR大船駅周辺で警察と協力し、放置禁止キャンペーンを行った。 ・老朽化した大船駅西口自転車等駐車場の建替えに関し、関係機関等と協議・調整を行い、工事に着手した。 ・鎌倉駅西口の駐輪場待機者の削減に向け、市役所敷地内での暫定自転車駐車場の設置に向けての調整を行った。 	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車等防止対策によって放置自転車等は年々減少しているが、更なる改善を図るためには、特に鎌倉駅西口や大船駅東口における駐輪場の用地確保及び整備が課題である。 ・買物客などの店舗利用者の歩道等一時駐輪に対する対策として、放置禁止キャンペーンを行っているが、引き続きマナーを守る呼びかけを継続的に行う必要がある。 	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	条例により放置防止対策を実施している自治体									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市	
他市実績	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
比較事項										
団体名										
他市実績										
比較事項										
団体名										
他市実績										

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車等防止対策は、ほとんどの自治体が条例に基づき、実施しており、市民生活にも大きな影響を及ぼすものであるため、今後も引き続き実施する必要がある。
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	市内2箇所にある放置自転車等保管場所に持ち込まれた放置自転車等の年間総数						単位	台	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
放置自転車等の減少により、歩行者が安心して歩ける空間の確保ができるため。	目標値	3,400	2,400	2,300	2,200	2,100	2,000				
	実績値	2,514	1,956								
	達成率	135.2%	122.7%								
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車等保管場所に持ち込まれた放置自転車等の年間総数は、当該事業の実施により、年々減少傾向である。引き続き本事業を実施することで、歩行者が安心して歩ける空間の確保を目指す。 										

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---